

2018年度 活用論文・実践記録集 がっぴょうがい 合評会のご案内

日本交流分析協会関西支部 支部長 中嶋 宗一
論文支援委員会 委員長 山本 昭一

関西支部結成から22年を迎え、「活用論文・実践記録集」は21巻目を発刊できました。執筆者のべ168名の中から、多くの指導会員が生まれ、支部活動の原動力となっている輝かしい伝統があります。作成を担当した「論文支援委員会」の活動は4年目を迎え、「活用論文・実践記録集」として広く呼びかけて4巻目となり、着実に歴史を刻んでいます。



今年度も、論文の作成支援を目的に「合評会」を開催します。論文作成は「実践記録」から始まります。実践記録は、交流分析を活用して気づいた日常の記録です。『活用論文・実践記録集』は、それらをまとめた貴重な資料です。それを教材に、交流分析をより深く理解し、実践していきたいと思えます。皆さんのご参加をお待ちしています。

今回の合評会では、『活用論文・実践記録集 Vo1.21』にまとめられた論文を教材に、気づいたことを学び合います。今年度は、論文に必須の統計（エゴグラムの箱ひげ図・相関係数・平均の検定）を活用できるように支援します。



今年の実践を記録し、活用論文にまとめるスタートの学習会です。興味を持たれた方は、どうぞ気楽にご参加ください。

記

対 象 交流分析の実践記録・活用論文を執筆してみたい会員（会員資格を問いません）

日 時 2018年7月8日（日） 13:30~16:00

会 場 関西支部 研修室

参加料 2,000円（当日受付で） 申込締切 7月5日（木）

内 容

- 『Vo1.21』の「看護大学生の自我状態と自尊感情（山本）」の「目的」「方法」「結果」「考察」から、形式に準じた「論文の書き方」について学び合います。
- データの集め方から分析について、次の内容について解説します。
*アンケートの作成 *エゴグラムの分析と記述方法 *箱ひげ図（1級教材）の見方
*相関係数の求め方と読み方 *平均の検定（意味のある変化を確かめる）

申し込み（ 関西支部事務局 FAX.06-6375-1002 または メール：info@takan31.com ）

お名前		連絡	()
メール	@	会員資格	

※いただいた個人情報は、合評会の連絡以外には使用いたしません。